

霞 城 コ ン パ ス

進路情報 第26号 令和4年2月15日発行



◆後期期末考査が始まります！ 2月28日(月)・3月1日(火)・2日(水)

今年度の成績を確定する最後の定期テストが始まります。成績の良し悪しはその人の評価を決定づけるものではありませんが、**進学や就職の条件や進学・就職の可否を左右する材料にもなります**。また、高い評定は一つの武器にもなります。評定は年度ごとに確定するので、**今年度の評定を上げるチャンスはこれが最後**です。成績はテストの点数だけで決まるものではありません。提出物の内容や提出状況、授業態度、出欠状況も含めての総合評価です。後で後悔しないように、「今」しっかり頑張りましょう。



■ 令和4年3月卒業予定者の進路希望・合格状況

2月14日現在

	I 部	II 部	III 部	合計	合格・内定
4 年制大学	5	0	0	5 < 5 >	3 (4)
短期大学	0	0	0	0 < 0 >	0 (0)
専門学校	8	4	3	15 < 14 >	15 (14)
就 職	6	11	3	20 < 22 >	19 (20)
そ の 他	2	2	3	7 < 5 >	6 (5)
合 計	21	17	9	47 < 46 >	43 (43)

※()内は昨年度2月16日現在実績。< >は昨年度希望者数。

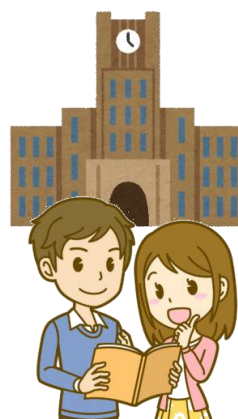
※大学入学共通テスト出願3名(昨年4名)

◆次年度卒業年次の進学希望者へ

次年度卒業年次の進学希望者はスケジュールを確認しておきましょう。「KAJO☆進路ハンドブック」P58にも載っています。「進学」は「学力」と「学ぶ姿勢」が大前提です。

高2コース実力養成講座エントリー者、つまり、大学・短大・看護専門希望者は春課題も配布されます。講習・外部模試を受験し、春課題もきちんと取り組み、提出することが、卒業年次の個別教科指導の条件です。

大学での学びは高校までの学びと違います。高校までは受け身の姿勢でもなんとかあったかもしれませんが、大学ではそうはいきません。「何をどう学びたいのか」というところがはっきりしていないと**時間とお金の浪費**になりかねません。大学に行けば就職は何とかなると考えているとすれば大きな間違いです。高校のようにレールを敷いて、丁寧に指導してくれるわけではありません。自分で考えて行動することができなければ、大学を卒業できたとしても就職できません。**進学する目的や意味をもう一度再確認してください**。



◇進路決定年間スケジュール（進学の場合）

	国公立大・短大関係	私立大・短大関係	専門学校関係
4月	●受験する大学・学部を決める(目標学校の設定・・・複数) (受験科目をチェックする)		＜将来の職業を明確にする＞ ○ やりたい仕事 ○ とりたい資格 ○ 学びたい分野 ⇒ 情報収集(雑誌・情報誌) ↓ 学校選び(案内書等取寄せ)
5月	①「大学入学共通テスト」科目 ②「個別試験」科目 (参考資料)		
6月	『受験報告書』(先輩方のもの)、受験雑誌など ⇒各教科の個別指導への申込み(4月)・・・個別指導の開始 ※この時期開催の各種学校説明会には積極的に出席すること		
7月	『実施要項』発表(下旬まで) — 各自志望する学校のものをすべて取り寄せること		
8月	オープンキャンパス(早ければ5月、多くは夏季休業中) ※ 各自の志望校を自分でチェックし必ず参加。できれば保護者と一緒に。		
9月	『大学入学共通テスト』 受験案内配布 ※校内では説明会の際に配布 『募集要項』の取り寄せ (12月末まで)	↑「総合型選抜」 ○学校によって時期が異なるので、早い時点からの準備が必要	看護・理学療法・作業療法など看護医療系の専門学校は、四大と同じくらいの難易度と考えてほしい。現役合格のためには、十分な受験勉強と模試のヴィジョンが必要となる。専門学校は、明確な将来のヴィジョンがないと意味のない時間となるので要注意！
進 学 推 薦 会 議			
10月	大学入学共通テスト出願(上旬)	※共通テスト利用の私大の受験を考えている場合も出願	
11月	↑「学校推薦型選抜」 (大学入学共通テスト免除)	↑「学校推薦型選抜」 ○一般公募制 ○指定校制(約30校)	
12月		↓「一般選抜」	
1月	大学入学共通テスト	「一般選抜」(中旬から)	
2月	↑国公立二次出願期間 (1月末～2月初、10日間) 前期日程(下旬)	第1期・2期など学校独自の分割入試日程を採用しているところが多いので、チャンスは1度だけではありません。 3月下旬まで	
3月	中期日程(初旬) 後期日程(中旬)		
備考	□受験大学・学部をいくつか選ぶ場合、「受験科目」(共通テスト・二次試験とも)がなるべく共通するものを選ぶようにしましょう。	□「推薦基準」を満たすことが、学校推薦を受ける場合の条件になります。また、合格実績をみると、「欠席日数」がポイントとなります。	□専門学校は、一般的に合格するのはさほど難しくありませんが、その内容・実績には大きな差があります。信頼に足るものかどうか、オープンキャンパスなどで確かめましょう！